

採点基準 世界史

- ※ 以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは< >でくり、得点として+1を付けている)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。
- ※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

I インド国民会議派を中心とした民族運動 (配点 20点)

- ※ 6行目に入っている答案を採点対象とする。
- ※ 15行目に入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。(以上IIIも同)

<1 19世紀後半～第一次世界大戦前まで>

- ① インド国民会議は、親英的なエリート層により発足したこと…1点
- ② イギリスがベンガル分割令(カーゾン法)を出したこと…1点
- ③ ②は反英運動の分断を狙ったこと…1点
- ④ ②はヒन्दゥ教徒とイスラーム教徒間の分断を狙ったこと…1点
- ⑤ (国民会議)カルカッタ大会が開かれたこと…1点
- ⑥ ⑤はティラクラが指導したこと…1点
- ⑦ ⑤では4綱領が掲げられたこと…1点
- ⑧ ⑦の具体例:英貨排斥・スワデーシー(国産品愛用)・スワラージ(自治,自治獲得)・民族教育…いくつか書いても1点
- ⑨ ⑤の結果,ベンガル分割令が撤回されたこと…1点
- ⑩ (国民会議への対抗として)全インド=ムスリム連盟が結成されたこと…1点

<2 第一次世界大戦勃発から第二次世界大戦前まで>

- ① 大戦中に,イギリスはインドに自治権付与を約束していたこと…1点
※「インドはイギリスのために大軍を派兵した」ことを述べても可
- ② 戦後に自治の約束が認められなかったこと…1点
- ③ 戦後(1919年)のインド統治法は自治とはほど遠い内容であったこと…1点
※「弾圧を図るローラット法が制定された」なども可
- ④ ガンディーが(国民会議派の)指導者になったこと…1点
- ⑤ ④は非暴力・不服従運動(サティヤグラハ)を展開したこと…1点
- ⑥ ラホール大会が開かれたこと…1点
- ⑦ ネルーが(国民会議派の)指導者になったこと…1点
- ⑧ ⑦はプールナ=スワラージ(完全独立)を決議したこと…1点
- ⑨ ④が「塩の行進」を行ったこと…1点
- ⑩ 新インド統治法(1935年インド統治法)で各州の自治権が認められたこと…1点

<3 第二次世界大戦勃発からインド独立まで>

- ① ボース(チャンドラ=ボース)が現れたこと…1点

- ② ①は日本軍との提携による独立を目指したこと…1点
- ③ 大戦中からジンナーがムスリム国家建設を目標にしたこと…1点
※「ジンナーがパキスタンの総督となった」なども可
- ④ 戦後にインド独立法が制定されたこと…1点
- ⑤ ④によりパキスタンが分離したこと…1点
- ⑥ インド連邦が成立したこと…1点
- ⑦ ⑥の首相がネルーであったこと…1点

<4 論理構成点> (=上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右上欄外に、+1または+2を付けている。加点されない場合は数字なし。IIIも同)

- ① <1><2><3>がバランスよく記されていること…1点
- ② 各時期におけるインド国民会議の指導者がすべて記されていること…1点
<1>ティラク, <2>ガンディーとネルー, <3>ネルー

II A 周王朝から秦の統一まで B 中国の革命運動 (配点 30点)

- ※ 漢字の誤りは不可
- ※ ひらがな表記は不可
- ※ b音をv音で表記しているものは不可
- ※ 空欄の後の語句を入れてしまった場合は許容 (以上IVも同)

A

- a 商 可 殷王朝×, 商王朝× 許容
- b 完答 (3つ正解で加点)
- c 洛陽 不可 ※東周時代の名称が問われているため
- (1) 孟軻 可
- (6) 西戎 不可 ※犬戎は西方にいた西戎の一派なので
- (7) 斉の桓公 可
- (9) 布貨, 布幣 可
- (10) 衛鞅, 公孫鞅 可

B

- e 台湾島 可 中華民国 不可
- (13) ジョン=ヘイ 国務長官, ジョン=ミルトン=ヘイ 可
- (16) 中華民国臨時約法 可
- (19) 第1次カラハン宣言 可 第2次カラハン宣言 不可
- (21) 赤軍, 中国工農紅軍 可
八路軍, 新四軍, 人民解放軍 不可
- (22) 蘆溝橋事件, 北支事変 可
- (23) カイロ会議, 第1次カイロ会談 可 第2次カイロ会談, カイロ宣言 不可
- (24) 人民政教, 中国人民政治協商会議 可 政治協商会議 不可
- (25) 香港島 可

Ⅳ 大航海時代が世界貿易にもたらした構造の変化 (配点 20 点)

<1 中世後半の北イタリア諸都市による東方貿易>

- ① 北イタリア諸都市が貿易の担い手であったこと…1 点
※「ヴェネツィア」「ジェノヴァ」など具体例も可
- ② ①が東方貿易（レヴァント貿易）を行っていたこと…1 点
- ③ ②は地中海東岸との貿易であったこと…1 点
- ④ ②で香辛料を輸入していたこと…1 点
- ⑤ ムスリム商人（イスラーム商人）が④をアジアから運んでいたこと…1 点
- ⑥ 香辛料を直接取引したいという欲求が高まったこと…1 点

<2 ポルトガル・スペインの対外進出>

- ① ポルトガルがインド航路の開拓を進めたこと…1 点
※「ヴァスコ＝ダ＝ガマがインド航路を開拓した」なども可
- ② ポルトガルの貿易がアジアで行われたこと…1 点
- ③ ポルトガルが香辛料貿易を独占したこと…1 点
- ④ スペインが西回りでアジア航路の開拓を目指したこと…1 点
- ⑤ スペインがコロンブスの航海を援助したこと…1 点
- ⑥ スペインがアメリカ大陸を征服したこと…1 点
- ⑦ スペインがアメリカで大量の銀を採掘したこと…1 点
※「アメリカでポトシ銀山を発見した」なども可
- ⑧ 銀の流入が価格革命を引き起こしたこと…1 点
- ⑨ 銀がアカプルコ貿易（ガレオン貿易）で中国に流入したこと…1 点
※「メキシコ銀が中国に流入した」などスペインとアジアの関係が分かれば可
- ⑩ 世界貿易の中心が地中海から大西洋に移ったこと…1 点
※「リスボン」「アントウェルペン」「アムステルダム」など具体例も可

<3 オランダの台頭>

- ① 17 世紀にオランダが世界貿易の覇権を握ったこと…1 点
- ② オランダが東南アジアで香辛料を取引したこと…1 点
- ③ オランダが香辛料貿易を独占したこと…1 点
- ④ オランダがアメリカに進出したこと…1 点
- ⑤ オランダがイギリスとの戦争に敗れたこと…1 点

<4 イギリス・フランスの対立と大西洋三角貿易>

- ① イギリスとフランスが世界貿易の覇権をめぐる争ったこと…1 点
※「イギリスとフランスが植民地戦争を展開した」なども可
- ② 大西洋三角貿易が行われたこと…1 点
- ③ 西インド諸島（カリブ地域）が貿易相手になったこと…1 点
- ④ ③と砂糖・コーヒー・タバコなどが取引されたこと…いくつ書いても 1 点
- ⑤ アフリカが貿易相手になったこと…1 点
- ⑥ ⑤と黒人奴隷が取引されたこと…1 点
- ⑦ 大西洋三角貿易は莫大な利益をもたらしたこと…1 点

<5 論理構成点>

- ① <1>～<4>がバランスよく順に書けていること…1点
※<3>は少なめで可
- ② <1>～<4>で、それぞれ貿易相手と取引商品が記されていること…1点

Ⅳ A ローマ帝国 世界帝国への道 B 近代フランス・ロシアの国際関係史 (配点 30点)

A

a エトルリア人× 許容

c エルサレム 可

(1) ターラントなど 可

(2) スキピオ=アフリカヌス 可 小スキピオ, スキピオ=エミリアヌス 不可

(7) 2点満点

① 共和政の形式をとること…1点

※「元老院との共同統治」なども可

② プリンケプス（市民の第一人者）に権力が集中する事実上の帝政であること…1点

B

(12) 第一帝政の成立など 可

(13) アレクサンドル=プーシキン 可

(14) 2点満点

① フランス革命前のヨーロッパに戻そうとする考え…1点

② 革命前の王朝（旧体制, アンシャン=レジーム）を正統とみなす考え…1点

(15) ボスポラス・ダーダネルス海峡 可

※完答（2つ正解で加点）

(16) ダニューブ川など可

(17) 2点満点

① 土地の分与が有償で高額だったこと…1点

② 土地の私有は認められなかったこと…1点

(18) 2点満点

① カトリック勢力がプロテスタント中心のプロイセン主導の統一に不満を持っていたこと…1点

② ドイツ南部（南ドイツ）のカトリック勢力に加えた弾圧…1点

※「反プロイセン的なカトリック教徒への弾圧」なども可

(19) ミドハド 不可

(21) 再保険条約, 独露再保障条約 可

(22) 2点満点

① イギリスのエジプトにおける優位を確認したこと…1点

② フランスのモロッコにおける優位を確認したこと…1点

以上